

広告

※安全を確認の上、防護メガネをはずして撮影しています。
2017年11月取材

KASHIWAZAKI-KARINAWA
Special Interview
新潟で働く
私たちの思い
Vol. 01
NUCLEAR POWER STATION

実現したい思いがある。
追求し続けたい安全がある。



中田エミリー
新潟出身。NST新潟総合テレビを経て、現在フリー。
その明るいキャラクターで活躍中の人気のアナウンサー。

東京電力ホールディングス
柏崎刈羽原子力発電所
第一保安部建築(第一)グループ マネージャー

中田 エミリー × 水谷 浩之

みなさん、こんにちは。中田エミリーです。突然ですが、原子力発電所って聞いて何を思いますか？「何をやっているかわからない」「福島事故のこともあるし、何となく不安」なんて思っていますか。私も同じです。だから来ちゃいました。柏崎刈羽原子力発電所。今、発電所でどんな人がどんな仕事をしているのか、直接会ってズバリ話を聞いちゃおうと思います。まずは何事も知ることから始めないとね。

電気を作っていない発電所って、今、何をしているんですか？

中田 こんにちは。今日はよろしくお話しします。水谷さんは、発電所でどんな仕事をしているんですか？

水谷 今は、主に安全対策設備の設計などを担当しています。例えば、水密扉の設置もその一つです。

中田 水密扉？

水谷 柏崎刈羽原子力発電所では、津波や浸水に備えた安全対策をいくつも行っています。その中の一つで、建物内の重要な機器などがある部屋に水が入らないように設置されている扉が水密扉です。

中田 水密扉：なんかすごい名前ですね。

水谷 潜水艦のハッチのような扉で、厚さは約20センチメートルあります。しかも、ただ水が入らないようにするだけではなく、強い衝撃や水深10メートルの水圧にも耐えられるように作られています。

中田 それなら水は入ってこなさそうですね。よね。発電していないのに、いろんな仕事があるんですね。

水谷 ええ。稼働していない今でも、安全対策工事などで、たくさんの方が発電所で働いているんですよ。

中田 へえ、そうなんだ。

福島第一原子力発電所事故で安全に対する考え方が変わったんですか？

中田 津波と聞くと、やっぱり福島第一原子力発電所事故を思い出しますけど、あの時はどうされていたんですか？

水谷 私はもともと地震対策の技術者だったので、どれほど大きな地震に耐えられる発電所を設計すればいいのかという仕事をしています。そんな時に起こった東北地方太平洋沖地震は、私の想像を大きく上回る規模の地震でした。福島第一は、その後、津波による大きな事故に至ってしまいました。その様子を事故対応の中で目の当たりにし、いち技術者として、非常に悔しい思いをしていたのを覚えています。

中田 それはつらかったですね。

水谷 でも、それ以上に、事故後、それまで築き上げてきた原子力事業者としての信頼を失っ

たことが何より一番つらかったです。

中田 そんな思いをしたなら安全に対する考え方や取り組み方も変わったんじゃないですか？

水谷 はい。失った信頼はすぐに取り戻せるものではないと思いますが、事故を経験した我々だからこそ、事故を反省し、その教訓をしっかり活かして、より安全なものを築いていかなければならないという意識を持つようになりました。

中田 教訓って？

水谷 事故の一番の教訓は、想定を上回る大きな災害や事故は、「起こるかもしれない」ではなく、「起こるもの」と考えなければならぬ」ということです。ですから今は、より大きな災害が起こることを実感を持ってリアルに想像し、ここまで考えているんですって胸を張って言えるまでとことん高いレベルを追求していきたいと、日々の安全対策に取り組んでいます。

これからどんな発電所にしていきたいですか？

中田 そこまでとことんやろうって思える、その力の源って、何なんですか？

水谷 一つは、原子力発電所の技術者としての責任感です。もう一つあるとすれば、「新潟への感謝の気持ち」ですね。

中田 感謝の気持ち？

水谷 首都圏の暮らしを支える電気をずっと供給してもらっていたということもそうですが、私自身、仕事でつらい思いをした時に、趣味の登山で新潟の山から大自然のエネルギーをもらったり、お米やお酒など美味しい食べ物からパワーをもらいました。

中田 あ、わかります！新潟ってなんか元気になるんですね。私も新潟で働いている時とそうじゃない時でテンション違いますもん。

水谷 そんなお世話になっている新潟を危険な目に遭わせるようなことは絶対にしたくない。だから、自分ができることを精一杯やり、仲間とともに発電所の安全対策に徹底的に取り組む。そして、その行動と姿勢を見ていただいて、新潟のみなさまに認めていただけるような発電所にしていきたいと思っています。

中田 そうなれるといいですね。じゃあ、私

水谷：（苦笑）

TEPCO

東京電力新潟本社 検索 <http://www.tepco.co.jp/niigata/index-j.html>



東京電力ホールディングス 新潟本社 025-283-7461 9:00~17:00 (土日・祝日・年末年始除く)